令和２年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

Ⅰ　スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
Ⅱ　マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
Ⅲ　スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
Ⅳ　日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
Ⅴ　スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【　茨城県　】

学校名【　石岡市立北小学校　】

１ 実践テーマ	Ⅲ
２ 実施対象者 （学 年・人 数）	全校児童　３４名 （第１学年３名、第２学年６名、第３学年５名、第４学年４名、 第５学年５名、第６学年８名、特別支援学級３名）
３ 展開の形式	【学校における活動】 ① 教科名（　生活科、総合的な学習の時間　） ② 行事名（　ボッチャ大会　　） ③ その他（　国語、学級活動　）
４ 目　標 （ねらい）	○オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高め、生涯を通じてスポーツや体を動かすことに親しむ児童の育成に努める。 ○パラリンピック種目であるボッチャの体験を通して、スポーツを通じたインクルーシブな視点と共生社会の構築を目指して、他者への理解、互いに支え合おうとする態度を育てる。
５ 取組内容	＜事前学習＞ ○１～３年：オリンピック・パラリンピックについて知る。 （学級活動・総合的な学習の時間） ・動画視聴　東京 2020 教育プログラム オリンピック・パラリンピック授業導入動画 オリンピック・パラリンピックの価値 ○３年　　：パラリンピックについて学ぶ。 （国語「パラリンピックが目指すもの」） ・パラリンピックについて調べたことをリーフレットにまとめる。※「Ｉ’ｍ　ＰＯＳＳＩＢＬＥ」の教材を活用 ○４～６年：アンケートの実施（モジュール：学級活動） ○４・５年：福祉について調べる。（総合的な学習の時間） ・パラスポーツについて、共生社会について ○６年　　：パラリンピックについて調べ、意見文を書く。 （国語「世界に目を向けて意見文を書こう」） ・パラリンピックの種目、競技をする上での工夫、パラリンピックの歴史や意義など各自のテーマについて調べ、分かったことをもとに意見文にまとめる。

＜ボッチャ大会＞　会場：体育館　　全体進行：（　６年生　）
（１）はじめのことば（　４年生　）
（２）講師紹介（　教頭　）
（３）パラリンピックについて（講師の講話）
（４）ボッチャに挑戦
・ボッチャについて　全体で、講師の先生の説明を聞く。
・ボッチャの練習　１～３年と４～６年に分かれて実施
・ゲーム　１～３年（16 人）と４～６年（18 人）に分かれて実施
※１チーム３人で編成し、１～３年は５チーム、４～６年は６チームの総当たり戦
（５）成績発表（　６年生　）
（６）感想発表（　６年生　）
（７）校長先生のお話（　校長　）
（８）おわりのことば（　５年生　）

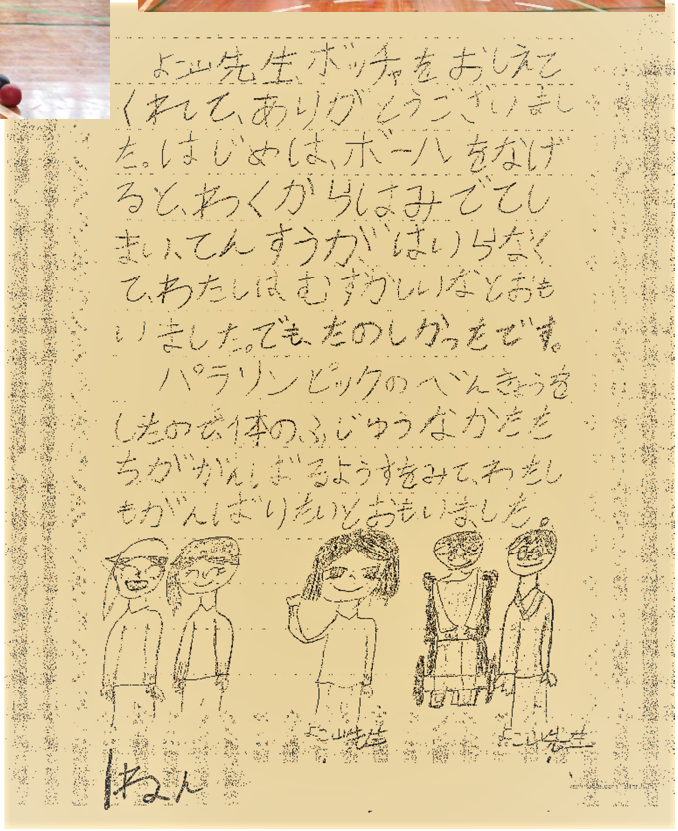


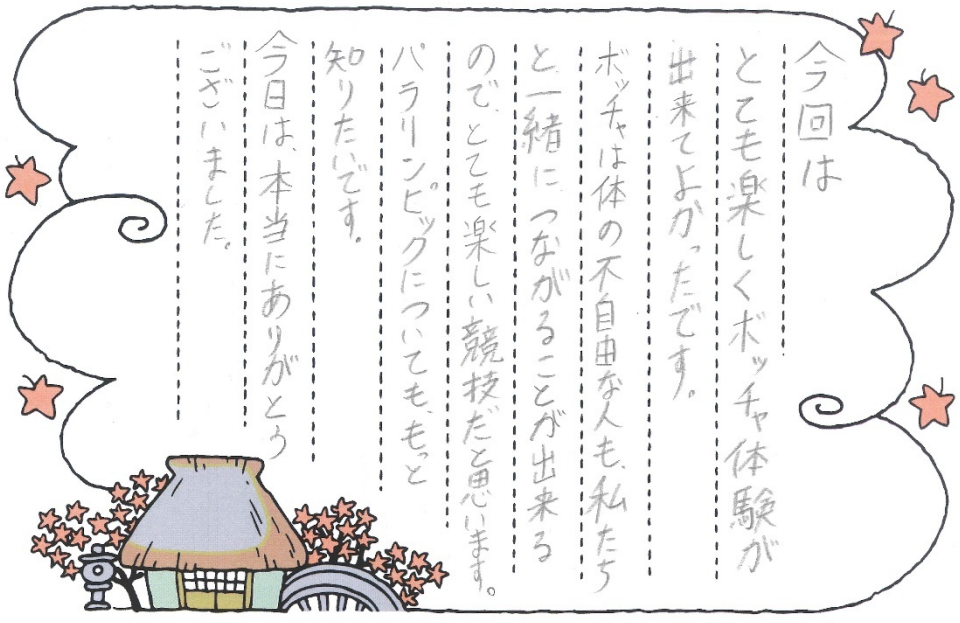


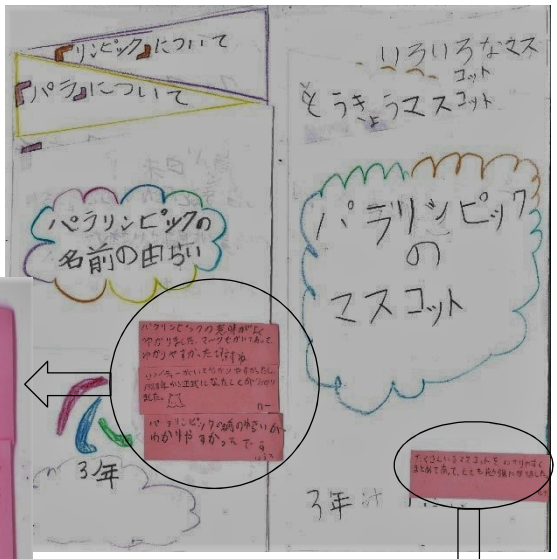
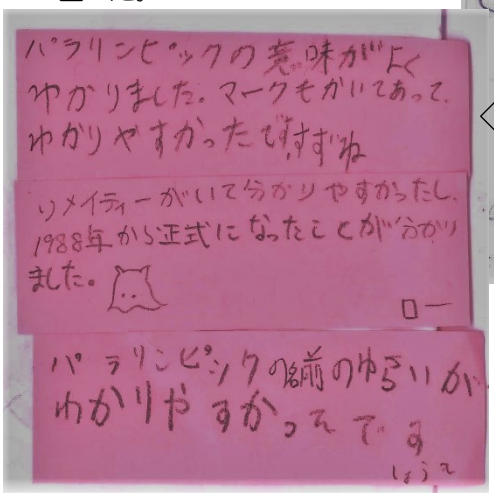
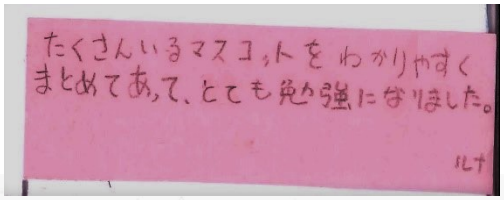
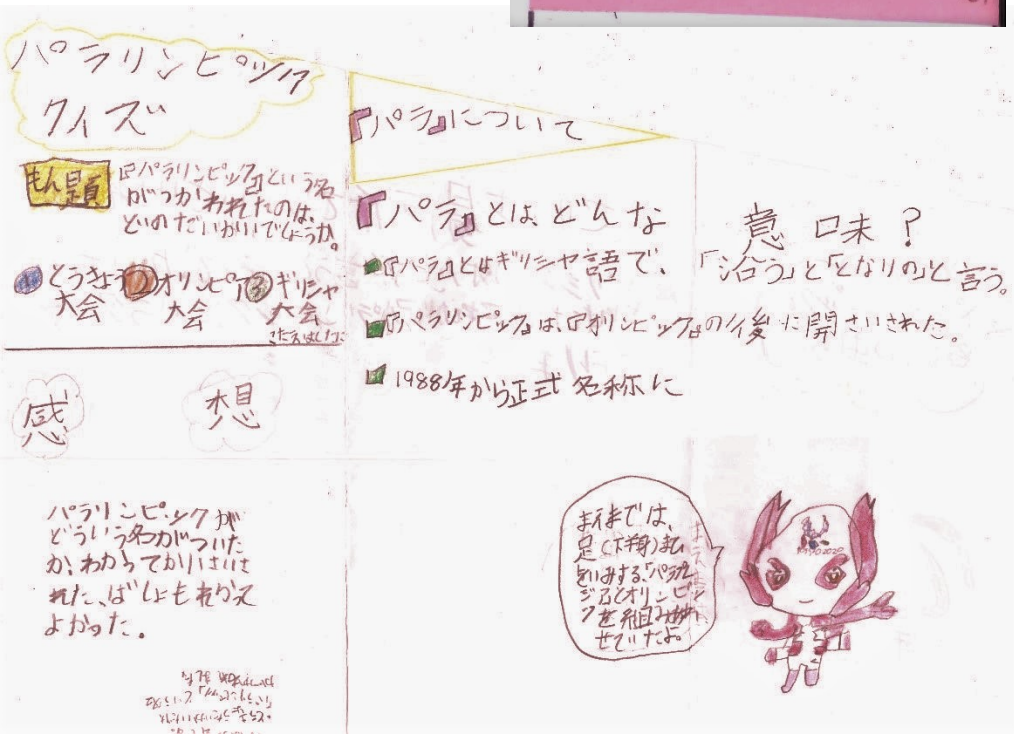


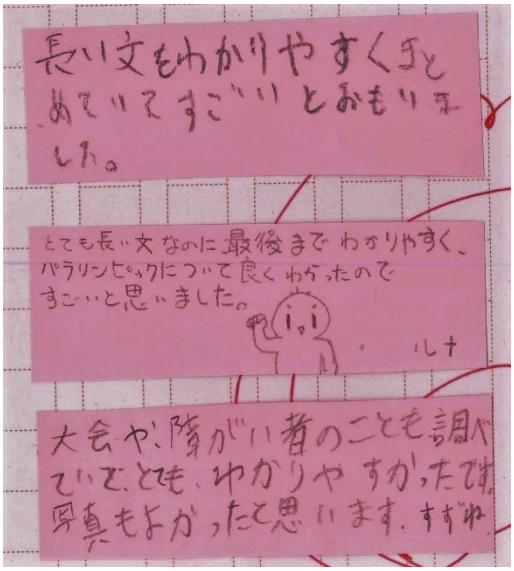


＜事後学習＞
〇アンケートを実施する。（４～６年）（学級活動）
〇学年毎に学習を振り返る。（学級活動）
・講師の先生方にお礼の手紙を書き、送付する。



	○各学級で、ボッチャに挑戦する。（学級活動） ・学年レクリエーションでボッチャ大会を行う。   ＜１～３年生の学年レクリエーションで実施＞   ＜４・５年生の学年レクリエーションで実施＞ ○３年・６年：パラリンピックについて交流学習 ・３年生のまとめたものを６年生に見てもらい意見をもらう。
６ 主な成果	○　オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高まり、理解を深めることができた。特にパラリンピックへの関心が高まった。 ○　パラリンピックの種目であるボッチャ体験を通して、その楽しさを実感することができた。また、障害のある人そうでない人など、誰でも、誰とでもできるスポーツであることを理解することができた。 ○　「体の不自由な人も私たちと一緒につながることができる。もっとパラリンピックについて知りたい。」など、ボッチャ体験を終えての児童の感想から、共生社会を目指そうとする意欲付けのきっかけとなった。  今回はとても楽しくボッチャ体験が出来てよかったです。 ボッチャは体の不自由な人も、私たちと一緒につながることが出来るのでとても楽しい競技だと思います。 パラリンピックについてももっと知りたいです。 今日は、本当にありがとうございました。 ＜ボッチャ体験を終えての児童の感想＞

7 実践において工夫した点（事業の特色）	○事前学習 ・３年国語「パラリンピックが目指すもの」、４・５年総合的な学習の時間「福祉教育」、６年国語「世界に目を向けて意見文を書こう」など、教科横断的な活動に取り組んだ。 ○ボッチャ体験 ・ボッチャ大会を開催し、全校児童で楽しく取り組んだ。 ※ゲームの時間を多く設定した。 ○事後学習 ・講師の先生へお礼の手紙を書くことで、活動をふり返り、新しいスポーツとの出会いや講師の先生への感謝の気持ちを再確認できた。 ・他学年との交流学習に発展し、ボッチャ大会の開催、オリンピック・パラリンピックについて調べ、まとめたことの発表会や意見交換会を開催することができた。 ＜３年生がまとめた リーフレット＞ ○6 年生との交流で、リーフレットの意見や感想をもらうなど交流を図った。    

	＜6年生がまとめた意見文＞   ○まとめた意見文を互いに読み合い、友達から意見や感想をもらうなど交流を図った。
8　主な課題等	○共生社会の構築 ・アイマスクや車椅子体験など計画的な取組 ・「I’m　POSSIBLE」教材の活用 ○発表の場の工夫 ・調べ学習し、まとめたものを全体で発表する場と機会の確保
9　来年度以降の実施予定	○パラリンピックスポーツに挑戦 ・全校児童でのボッチャ大会 ・その他のスポーツ（講師を招聘しての体験活動：卓球バレー） ○共生社会の構築を目指して ・「I’m　POSSIBLE」の教材を活用（職員研修） ・全校児童でのアイマスクや車椅子体験や高齢者と触れ合う活動など ○地域との交流活動 ・学区内にある保育園や老人ホームで、パラリンピックスポーツ（ボッチャ）などを通した交流